

各関係機関長 殿
病害虫防除員 殿

徳島県立農林水産総合技術支援センター
病害虫防除所長
(公印省略)

平成22年度農作物病害虫発生予察情報について

平成22年度農作物病害虫発生予察特殊報第1号を発表したので送付します。

平成22年度農作物病害虫発生予察特殊報第1号

平成22年11月19日
徳 島 県

1 病害虫名

ハウレンソウベと病レース8 *Peronospora effusa* (Greville) Cesati (race 8)

2 発生作物

ハウレンソウ

3 発生地域

徳島市

4 発生の経過

ハウレンソウベと病は、本県では平成6～7年にかけてレース4、平成13年にレース5(特殊報の発表は平成14年4月)、平成19～20年にかけてレース6あるいは7(特殊報の発表は平成20年4月)の発生を、それぞれ確認している。その後はレース7抵抗性品種の導入が進んだことにより、本病はほぼ沈静化していた。

ところが、平成22年4月21日に徳島農業支援センターから、徳島市国府町北井上で栽培中のハウレンソウベと病レース1～7抵抗性品種'アリゾナ'に本病が発生していると検体の持ち込みがあった。4月23日には発生圃場及び近隣の圃場で品種'ヴィジョン'(レース1～7抵抗性品種)での発生を確認した。農業研究所病害虫担当で、本病発病葉から胞子を採取し、噴霧接種により検定を行なったところ、以下のような結果であった(表1)。

検定結果から新レースの発生が強く示唆されたため、独立行政法人農業・食品産業技術総合研究機構野菜茶業研究所 山内氏にレース検定を依頼したところ、ハウレンソウベと病レース8であると判明した。

表1 2010年ホウレンソウべと病レース検定結果

品種名	べと病抵抗性	検定結果	品種名	べと病抵抗性	検定結果
おかめ	なし	+	アリゾナ	R1~7	+
リード	R1, 3	-	ミラージュ	R1~7	+
サンピア	R1~4	+	クローネ	R1~7	+
新鮮緑	R1~5	-	株張クローネ	R1~7	+
アスパイアー	R1~5	-	スーパーヒルズ	R1~7	+
ヴィジョン	R1~7	+	パワーアップセブン	R1~7	+
タキシード7	R1~7	+	グリーンホープ	R1~7	-
スーパーアリーナ7	R1~7	-	早生スイング	R1~7	-
新鮮緑7	R1~7	-			

表中の「+」は発病を確認。

品種‘アリゾナ’から孢子濃度を約 10^9 個/mlに調整し、噴霧接種した。

接種後は温室状態で20℃、12時間日長の人工気象器内にて静置。

3日後に人工気象器内の温度を13℃に下げ、発病を促した。

5 対策

- (1) 品種は本病レース8に抵抗性があるものを利用する。作型等の関係で作付けできない場合には、薬剤による防除を徹底する。
- (2) 本葉への感染を抑制するため、薬剤は予防的に用いる。本葉3~4葉期に散布し、7日後にもう一度散布する。薬剤散布時には下葉や葉裏にもよくかかるよう、丁寧に散布する。
- (3) 罹病株を圃場に放置すると次作の第一次伝染源となるので、発病株は速やかに処分する。また、春先に萎縮して奇形となった株も本病に感染しているため、速やかに処分する。
- (4) 防除等の詳細については、県植物防疫指針を参照する。



圃場での発生状況(品種‘アリゾナ’)

接種検定結果(品種‘タキシード7’(中央)及び‘クローネ’(右))